



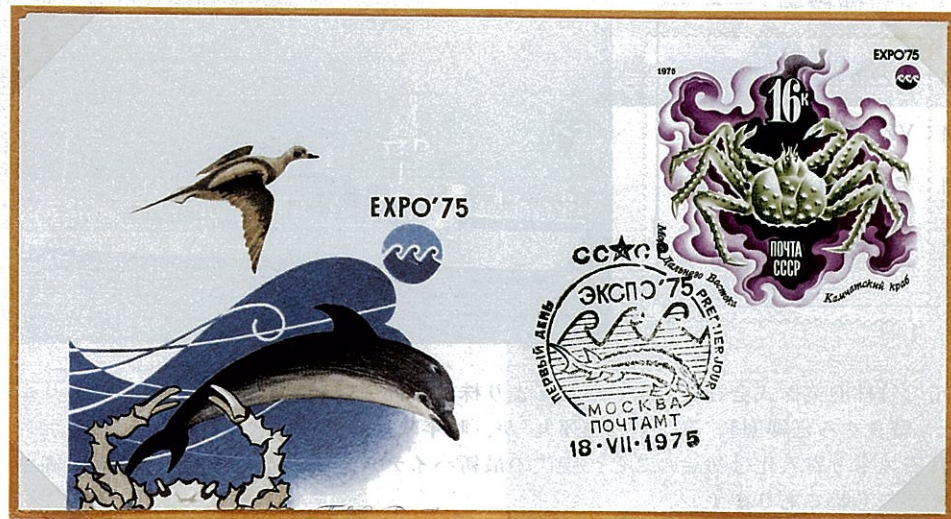
タラバガニ

分類：十脚目 爬行亜目 異尾区 タラバガニ科  
 学名：*Paralithodes camtschaticus*  
 英名：Alaska king crab

ベーリング海、カムチャッカ半島、オホーツク海を経て北海道の襟裳岬、日本海沿岸から朝鮮海峡にまで分布する。

体色は紫色で鉗脚の鉗部及各歩脚の先端部の前節と指節は鮮やかな朱黄色を呈する。額角の中央棘は長く先が尖る。眼は突出して眼柄とほぼ同じ長さ。甲表面は24棘がある。鉗脚は右が強大で鉗脚及3対の歩脚共数多くの鋭い棘におおわれる。第3脚が最も長く甲巾の3/4程ある。甲長及甲巾共125mm位。

生息水温は1~3℃、水深200~300mで、春期浅所(60~70m)に移動して卵を孵化し、脱皮後深所に移動する。カニ類の中で最重要産業種で、缶詰としても最高。

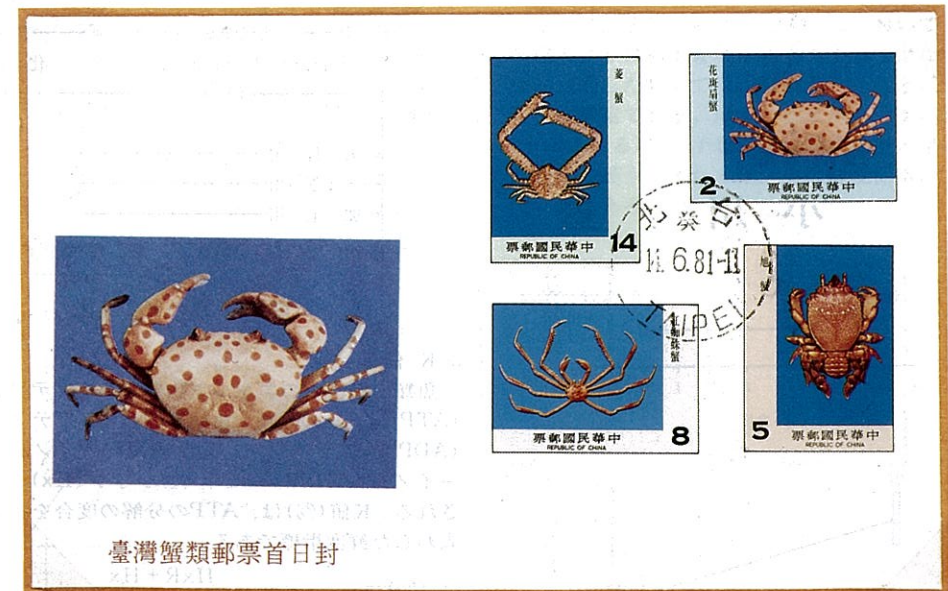


アサヒガニ

分類：十脚目 爬行亜目 短尾区 アサヒガニ科  
 学名：*Ranina ranina*  
 英名：Redfrog crab

相模湾から沖縄、台湾、中国南岸インドシナ半島からハワイ諸島の太平洋温帯熱帯海域及インド洋ではアフリカ東海岸南部にかけての水深10~50m位の砂地に生息分布し群棲することもある。

甲長130mm甲巾115mm位の波柿型のやや大型種で甲面は朱赤色で、左右にやや湾曲し前方に向って尖った短い棘におおわれる。鉗脚の掌部は平たく外縁には2本の鋭歯、内縁には5本の鋸歯があり指節はほぼ直角に内側に曲げる事が出来る。4対の同形同大の歩脚は両縁とも長毛が密生し、末端の指節は三角形の板状で、これらを使って海底の砂の中に体を斜めに潜り、縦に伸縮自在の眼柄と触角だけを出していることが多い。移動は横ではなく後方に這う。



臺灣蟹類郵票首日封